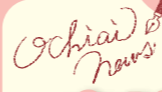


落合病院ニュース



病院で働く人たち

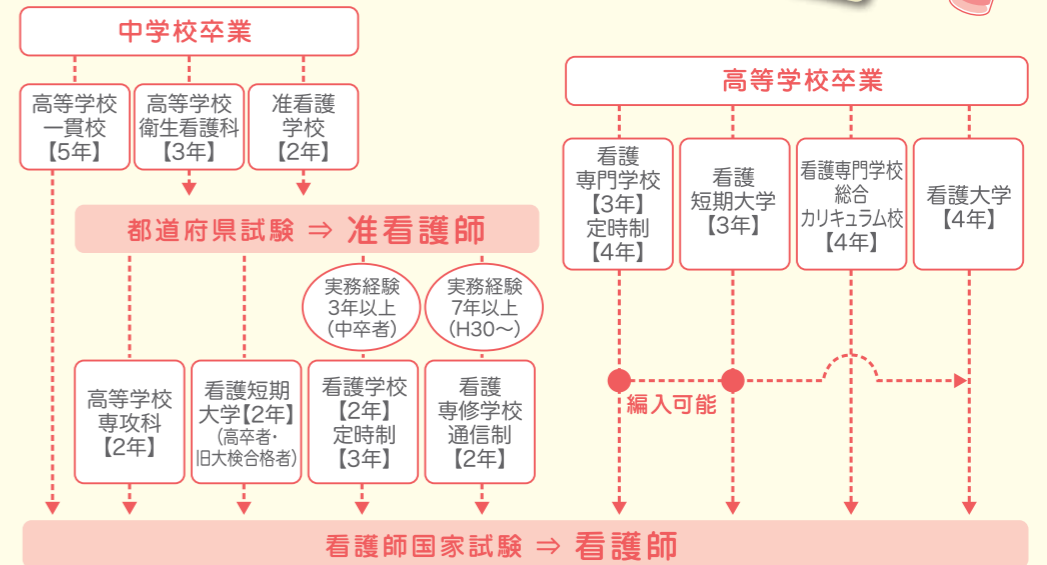
病院で働くには、どんな資格が必要か？また仕事の内容や特徴などをシリーズでご紹介します。第1回目は「看護師」です。



看護師とは

保健師助産師看護師法において「看護師」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者とされています。じょく婦とは、出産後間もない女性、産褥期にある女性のことです。

看護師になるには



看護部長より落合病院で働く看護師のご紹介



外来、腎センター、一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟の部署があります。救急対応、通院、入院療養の看護をはじめ、急性期から在宅、施設をつなぎ、地域包括ケアシステムの推進に努めています。また、真庭市唯一の透析施設、分娩施設としての役割も担っています。さらに、予防医療として健康管理センターでの指導、災害時にはDMATが被災地に出勤して救護活動を行っています。人口の減少や超高齢化、働き手不足が全国的な問題になっていますが、真庭市のような中山間地域はより深刻です。まだまだ医療や看護はロボットやAIに置き換えることができない仕事です。やりがいを持ち、ワークライフバランスを考え、仕事も生活も充実させて生き生きと働ける職場づくりを進めています。

落合病院で働く看護師へ質問してみました！

Q1 看護師になろうと思ったきっかけは何ですか？

- 母も看護師であり、生き生きと働く姿に憧れたから。母のような看護師になりたいと思った。
- 人に寄り添って、話をしたり聞いたりするのが好きだから。
- 大切な人に元気でいてほしい、何か起きたとき「単純に命を助けたい」。自分が看護師になることで大切な人を救えるのではないかと思った。

Q2 看護師になって良かったと思うことは？

- 「あなたに看てもらえて良かった」と言ってもらえたこと。
- 患者様と話すことで、いろいろな視点からのコミュニケーション技術が身に付いたと思う。

Q3 目指す看護師は？

- 患者様の気持ちを傾聴でき、患者様に寄り添った看護師でありたい。
- 冷静的確に素早い判断ができる看護師。
- 信頼され、他者と協働できる看護師。

Q4 落合病院に就職して良かったことは？

- 生活スタイルに合わせて働き方の相談をもらった。両親の看取りもさせてもらった。
- 長く勤めて愛着がある。新病院になっても守りたい良さがある。

Q5 ストレス発散方法は？

- 同期と遊ぶ ●寝る ●推し活
- 趣味や家族とリラックスして過ごす
- 車中で大音量で好きな曲を聴く
- 仕事に関係ないことに集中する
- 飼っている犬と遊ぶ

新年のごあいさつ



新年、あけましておめでとうございます。旧年中は皆様方にお世話になりました。落合病院をはじめ、医療法人井口会の各施設の運営、活動にご協力、そしてご支援を賜りまして心より感謝しております。昨年は元日から能登地震があり、物価の高騰、首相の交代、政治資金問題、世界各地で戦争・紛争・災害が起こるなど不安定な状況が続いてきました。医療機関においては新型コロナウイルスなどの感染症対策に悩まされる一年でした。医療機関では感染対策を緩和することが難しく、緩和の方向で対応してきましたが様々な制限をせざるを得ませんでした。利用者の方々やご家族、関係者の方々には大変にご迷惑をお掛けしておりますが何卒ご理解いただき、と思います。医療・介護・福祉など社会保障に関わる環境は日々目まぐるしく変化し、患者さんやご家族のみならず、行政や医療者側においても大変に厳しいものとなってきております。近年、真庭圏域では医療機関の閉院が相次いでいます。閉院により利用されている患者さんやご家族への負担は非常に大きくなり、また受入れ医療機関側にも負荷がかかります。医療、介護、福祉の安定供給は地域で安心して生活していくために必須です。まさに地域社会全体が苦境に立たされていることを実感しています。一つひとつの医療機関では対応困難な状況となっておりますので、今以上に近隣医療機関との連携が求められます。お互いに協力して地域の方々の生活や健康を守るお手伝いをし、少しでもお役に立てるように職員一同、努力、精進を重ねてまいります。初代理事長の井口與志子が落合に赴任してきたのが昭和十二年です。以来長期にわたり医療を継続してこられたのはひとえに地域の方々から温かく見守っていただき、育てていただいた賜物です。落合病院、向陽台病院をはじめとして法人施設が一体となり、さらに近隣医療機関との連携も今以上に緊密にし、皆様方のご期待に応えられるよう努力してまいります。本年も落合病院、関連施設のご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様方にとりまして良い年、平穏な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和七年一月一日 医療法人社団井口会 理事長 総合病院 落合病院 院長

井口大助

TOPICS 1

2年間の研究成果を発表

11月28日(木)第35回目となる院内看護研究発表会を開催しました。当院では、看護の質向上を目的として、2年間にわたって研究した成果を発表する場となっています。今回は、外来より「前立腺がん治療に対し意思決定支援に繋がるパンフレットの作成と活用」、東病棟より「当病棟独自のペーパーリングを継続するための課題の明確化」、南病棟より「療養病棟における看護師の退院支援に対する意識を高めるために」の3席の研究発表がありました。発表後には活発な質疑応答があり、新見公立大学看護学科の栗本一美先生に講評をいただきました。研究の成果を看護実践に生かしていきたいと思えます。

TOPICS 2

中国地区DMAT 実働訓練に参加しました



11月30日(土)、中国5県の災害派遣医療チームDMAT(医師・看護師・業務調整員で構成される5名程度のチーム)による合同訓練が広島県で開催されました。大地震により、呉圏域及び広島圏域を中心に停電、断水等が発生したという想定で、落合病院チームは早朝より出発、呉医療センター内に設置された活動拠点本部に参集し、同センターの病院支援指揮所に派遣されました。主に病院支援活動を担当し、搬送されてきた模擬患者の診療や本部活動の支援などを行いました。翌12月1日(日)には広島市内で検証会があり、各地での訓練の様子や反省点などが発表されました。

TOPICS 3

岡山空港航空機事故 総合訓練に参加しました



11月20日(水)岡山空港で行われた航空機事故総合訓練に当院のDMATが参加しました。エンジントラブルによって航空機が緊急着陸し、火災が発生したという想定で、空港関係者や消防、警察、医療チームなどが参加する大規模な訓練でした。空港内の滑走路に救助所となるテントが設置され、救助されてきた傷病者のトリアージや処置、本部との連絡、搬送などの訓練を行いました。本訓練は2年ごとに行われており、参加した隊員にとっては貴重な経験となりました。

